

2024年PRI戦略コ ンサルテーション

変化する世界への対応

私たちのミッション

私たちは経済的に効率の良い、持続可能な国際金融システムが長期的な価値の創出に必要であると考えています。

こうしたシステムは、長期的な責任投資に報い、環境や社会全体に利益をもたらします。

PRI は、本原則の採用およびその実施の協働を奨励すること、優良なガバナンス、誠実性、説明責任を促進すること、市場の慣行、構造および規制の中に存在する持続可能な金融システムにとっての障害に対応することにより、この持続可能な国際金融システムの達成に尽力します。

6つの責任投資原則



- 1 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスにESGの課題を組み入れます。
- 2 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣にESGの課題を組み入れます。
- 3 私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な開示を求めます。
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

PRI免責事項

本資料に含まれる情報は、情報提供のみを目的としたものであり、投資、法律、税務、その他のアドバイスを意図したものではなく、投資その他の意思決定を行う際に依拠することを意図したものでもありません。すべてのコンテンツは、著者および発行者が法律、経済、投資、またはその他の専門的な問題やサービスに関する助言を提供するものではないことを理解した上で提供されています。PRI Associationは、参照される可能性のあるウェブサイトや情報資源の内容については責任を負いません。これらのサイトへのアクセスまたはそのような情報資源の提供は、そこに含まれる情報をPRI Associationが保証するものではありません。PRI Associationは、誤記や脱落、この文書に記載された情報に基づいて行われた決定や行動、またはそのような決定や行動に起因する損失や損害について責任を負いません。すべての情報は「現状有姿」で提供され、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用から得られる結果について、明示または黙示を問わずいかなる保証も行いません。PRI Associationが執筆したコンテンツについては、明示的に別段の記載がある場合を除き、表明された意見、推奨、発見、解釈、結論はPRI Association単独のものであり、必ずしも寄稿者または責任投資原則の署名者（個人または全体）の見解を表すものではありません。言及された他のいかなる組織も、記載された結論を支持または同意していると推論されるべきではありません。企業の事例を掲載することは、PRI Associationまたは「責任投資原則」の署名機関がこれらの組織を支持することを意味するものではありません。PRI Associationは、信頼できる最新の情報源から情報を入手するよう努めていますが、統計、法律、規則、規制の変化により、情報の遅れ、漏れ、不正確さが生じる可能性があります。第三者によって作成されたコンテンツ 外部投稿者によって提供されたコンテンツの正確性は、当該外部投稿者の責任となります。外部寄稿者によって提供されたコンテンツで表明された見解は、外部寄稿者のみのものであり、著者として記載された外部寄稿者以外のPRI Associationまたは責任投資原則の署名者の見解を支持するものでも、必ずしも一致するものでもありません。

目次

PRI CEO, DAVID ATKINからのご挨拶	5
コンサルテーションのプロセスとタイムライン	6
ナラティブ	8
- エグゼクティブ・サマリー	9
- 戦略的背景	12
- 今後導入される戦略の重点分野案	13
- 次のステップ	21
コンサルテーション	22
- 戦略の刷新と年会費体系の変更	24
- 署名機関による進捗(プログレッション)	29
- レポーティング(必須)の未来	34
- 署名機関にとっての価値	37

PRI代表取締役社長

2006年の設立以来、PRIは多くの成果を残してきました。署名機関との連携により、責任投資は今や金融慣行の主流となり、世界中で投資家の戦略に欠かせない存在となっています。一方で、責任投資を取り巻く展望は様変わりしており、世界の持続可能性課題における進展、投資市場および責任投資エコシステムにおける地政学的推移と変化をはじめとして、複数の力が働いています。

私たちは今年、署名機関のニーズと我々を取り巻く世界の変化に直接応える形で、新たな戦略を立ち上げます。その取り組みの中には、PRIに重大な変化をもたらす内容もありますが、その他の部分はこれまでの重点分野をより一層強化することを目的としています。新しい戦略は総じて、急速に進化する環境において署名機関に最大限の価値を提供し、環境と社会全体に恩恵をもたらす持続可能な金融システムを構築するというPRIのミッションを果たすために、より優れた体制を整えるものです。

私たちが署名機関と共有する本戦略は、4つの重点分野を軸として本プログラムの優先事項を展開することを目指しています。責任投資 (RI) 慣行を推し進めるため、署名機関にきめ細やかなガイダンス、レポート、評価を提供することに注力していきます。引き続き、国内におけるRIエコシステムの強化を目指して、成熟地域での存在感を確立し、発展途上市場でのリーチを拡大してまいります。今後は会合の機会をさらに多く設け、投資家の協働イニシアチブがもたらす影響力を高めていきます。最後に、私

たちは政府および関係者と協働し、より効果的なエンゲージメントをするとともに、RIの主要な政策と規制の策定に取り組んでまいります。

この先の数年間もリスクと困難が待ち受けているものと予想されます。世界中の署名機関と同じく、私たちも困難な環境を歩んでいくことは間違いありません。切迫した気候危機の悪化のみならず、反ESGセンチメントの広がり、中東とウクライナで続く暴力行為、そして強力なインフレ圧力など、世界は相変わらず不安定な様相を呈しています。PRIの継続的な成功には、こうした課題に直接対応し、今日の投資家を取り巻く環境で投資家のニーズに応える戦略と実用的なアプローチが必要なのです。戦略の刷新に関する皆様のフィードバックをお伺いし、今後数年かけて戦略を実現するべく皆様と協働できますことを心待ちにしております。



David Atkin
PRI CEO



コンサルテーションのプロセスとタイムライン

2021～2024年の戦略期間も終盤に差し掛かりましたが、PRIはこれまで18カ月間にわたり、めまぐるしく移り変わる外部環境を踏まえ、署名機関との幅広いコンサルテーションを通じて新しい戦略に取り組んできました。新しい戦略には、2つの包括的な目的があります。ひとつは、急速に進化する環境において署名機関に最大限の価値を提供すること、もうひとつは、環境と社会全体に恩恵をもたらす持続可能な金融システムを構築するというPRIのミッションを果たすことです。

本書では、主な優先事項と今後の方向性を含め、この新しい戦略計画の概要を提供します。コンサルテーションでは、こうした内容について署名機関の皆様に意見を伺います。

2024年PRI戦略コンサルテーションは、2024年3月から5月にかけて実施されます。PRIは署名機関を中心とした組織として、すべての署名機関の皆様に本プロセスへの参加をお願いいたします。

オンラインでのコンサルテーション・アンケートでは、すべての署名機関より正式なフィードバックをいただきたいと考えております。各組織にアンケート回答用の固有のリンクを、各署名機関の主たるPRI連絡先（メイン・コンタクト）および第2のPRI連絡先（セカンダリー・コンタクト）に登録がある方に送信します。

• 各組織で1回答をお願いいたします。

• 2024年5月10日23時59分（現地時間）までに回答を送信してください。

分析を容易にするために、英語で回答していただけますと幸いです。しかしながら、中国語、フランス語、日本語、ポルトガル語、スペイン語についても対応しており、それ以外の言語につきましても回答を受け付けられるように最善を尽くします。PRIボードは、正式なコンサルテーションのフィードバックを確認し、分析後に提案があれば話し合い、次のステップに合意したうえで戦略計画を取りまとめます。

コンサルテーションの終了後、PRIは以下について署名機関に報告します。

- 最終的な戦略計画
- PRIボードから署名機関のコンサルテーションへの正式な回答
- コンサルテーション・アンケート回答のまとめ
- すべてのコンサルテーション・アンケートの回答全文（個々の署名機関属性は特定しません）



詳細につきましては、2024年PRI戦略コンサルテーション変化する世界への対応 ウェブページ ご質問がございましたら、

info@unpri.org:
までメールでご連絡ください

PRIの正式なコンサルテーション

これは正式なコンサルテーションであり、組織への重要な変更、つまり署名機関の期待、関わり、またはコミットメントに影響を与える可能性のある変更について議論または提案するときに行うものです。新しい戦略計画を採用する前、またはガバナンス構造、パーパス、ミッション、原則、もしくは年会費体系に重大な変更を加える前に、正式なコンサルテーションを行う必要があります。過去の正式なコンサルテーションのトピックには、戦略計画、年次報告と評価（レポーティングとアセスメント）、署名機関の最低要件、持続可能な金融システム作業プログラムなどがあります。

それぞれの正式なコンサルテーションに関して、PRIはコンサルテーション文書を発行し、最低でも4週間のコンサルテーション期間を設ける必要があります。また、ウェビナーやイベント、アンケートなどの複数のチャネルを使用して署名機関がフィードバックを提供できるようにするよう、定款で定められています。受け取ったフィードバックのまとめ、署名機関の属性を特定しない形でコンサルテーションの回答全文、PRIボードからの正式な回答を常に公開しています。

ナラティブ

エグゼクティブ・サマリー

PRIはこれまで18カ月間にわたり、署名機関との幅広いコンサルティングをもとに、戦略の刷新に取り組んできました。本戦略には、2つの包括的な目的があります。ひとつは、急速に進化する環境において署名機関に最大限の価値を提供すること、もうひとつは、環境と社会全体に恩恵をもたらす持続可能な金融システムを構築するというPRIのミッションを果たすことです。

戦略的背景、署名機関からのフィードバック、そしてPRIの主なメッセージを踏まえて、私たちは本戦略の4つの重点分野を定めました。

1. PRIのレポート（必須）を合理化しつつ、署名機関によるRIの進捗を推進する

- **戦略的背景:** 昨今、世界中でRIエコシステムが成長し、現行のRIへのアプローチに課題が生じていることから、署名機関の間ではRIに関する目標や成熟度、進捗がますます多様化していきました。また、一部の法域では、複数のRI報告フレームワークによって署名機関の負担が増大している一方で、比較的成熟度の低いエコシステムでは、主力サービスとしてPRIレポートに依存する状態が続いています。
- **署名機関にとっての付加価値:** PRIでは、署名機関がRIの進展を示すための新しい方法を確立します。きめ細やかに調整されたプログレッション・パスウェイでは、新しく先進的な

取り組みを進めている署名機関が個々のRIの目的やマネー、規制環境に応じてRI慣行を確立し、ゆくゆくは同業他社に対する有意義なベンチマーキングを実行できるよう、サポート、ガイダンス、リソースを提供していきます。さらに、レポート・プロセスの合理化により、少ない労力で6つの原則を実施できるようになるため、署名機関は多くのリソースを進展させる事に、割けるようになります。プログレッション・パスウェイとレポートのいずれについても、戦略計画期間を通して、法域および組織全体でレポート・フレームワークとの対応付けが行われます。

- **ミッションの実現:** 個々の投資家が自らの慣行を学習し、進捗させることができれば、RIがさらに前進します。そして、レポート・プロセスの合理化によって6つの原則に対する説明責任が果たされます。

2. 地域のRIエコシステムを強化し、新興市場と発展途上国経済(EMDE)でのリーチを拡大する

- **戦略的背景:** 持続可能な金融システムに向けた行動には、世界レベルと地域レベルの両面からの取り組みが必要です。これは、署名機関が地域レベルでのさらなる支援を求めていることや、持続可能性の優先事項とシステム全体のリスクにおけるEMDEの重要度が増していることに反映されています。

- **署名機関にとっての付加価値:** 特定の地域についての専門知識を持った現地の担当者がエコシステムの中で署名機関と連携し、知識共有と協働作業の機会を積極的に提供します。私たちはEMDEでの存在感を戦略的に高め、世界中の投資家コミュニティ全体で、こうした市場で直面する課題についての理解を深めます。さらに、ネットワークパートナーとの合意事項を取り入れ、PRIとパートナー・グループとの連携を高めて、取り組みが重複しないように務めます。
- **ミッションの実現:** この取り組みでは、より大規模かつ強力な多様な世界規模のRIエコシステムを育み、特にEMDEにおいて、世界および地域の政策と金融市場改革の優先事項のすり合わせを行います。

3. 協働イニシアチブをサポートし、指揮することで、署名機関の影響力を拡大する

- **戦略的背景:** 協働はシステム全体のリスクに効果的かつ効率的に対処するための方法として依然有効ですが、世界中のRIシステムが成長し、成熟していくにつれ、署名機関はますます複雑化する環境の中を進んでいます。
- **署名機関にとっての付加価値:** 署名機関には、PRI主導・支援する既存および新規のスチュワードシップ、目標設定、ピア・ラーニングのイニシアチブを通して協働するための機会が提供されます。また、協働イニシアチブに対応するためのプラットフォームや情報に更にアクセスしやすくなります。先進的な署名機関には、投資家の協働を通じてRIの進展を探

索、確立、推進するための特別な機会が与えられます。

- **ミッションの実現:** このような充実した支援により、RIに対する障壁と持続可能な金融システムに協働で取り組むことができます。

4. 政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIの実現環境を強化する

- **戦略的背景:** 昨今、政策および金融改革が著しく進展する一方で、署名機関はRIの優先事項として、効率の向上と調和の強化を挙げています。
- **署名機関にとっての付加価値:** 私たちは、特に大規模かつ経験豊富で関与度の高い署名機関と緊密に連携し、主要な政策と規制の策定に関して、投資家の声を代弁します。署名機関とのこれまでの経験を、政策立案者、規制当局およびその他システム関係者との取り組みに活かして、透明性のある市場を確立し、政策、規制のフレームワークおよび市場構造をサステナビリティ・アウトカムに合致させます。
- **ミッションの実現:** 責任投資を実現できる環境に改めて注力することで、政策と金融市場構造をサステナビリティ・アウトカムに合致させ、システムの変革を推し進めることができます。

つまり、PRI戦略の刷新によって、署名機関はRI慣行を進展させ、持続可能な金融システムの実現を阻む要因と可能にする要因に

対して行動を起こすことができるようになります。署名機関向けのサービスとして、プログレッション・パスウェイに関するアドバイス、教育および学習機会、協働イニシアチブへの参加、政策コンサルテーションでの専門家による意見、そして調査をもとに将来的な改革の優先事項を特定するサービスなどが挙げられます。目標の進展に向けて、署名機関には、引き続きRI慣行を実践していただき、他社と協働する機会を模索して、世界中でRIを進展させるために変化する規制環境で何が求められているのかを見極めていただきたいと思います。

ここからは、戦略的背景を簡単に説明し、各重点分野の詳細を解説して、本戦略の実現に必要な年会費改定案を紹介いたします。これまで署名機関からお寄せいただいた意見に感謝すると共に、今後も引き続きコンサルテーションにご協力をお願いいたします。次のステップとして、2024年3月後半にアンケートを配布し、PRIの戦略的方向性案についての意見を伺ってまいります。

戦略的背景

世界中のRIエコシステムが大きく進展する一方で、気候変動と自然環境の悪化は依然重大なリスクとして拡大しつつあります。また、経済効果の不均衡が広がるにつれ、世界中で社会情勢と政治情勢の不安定さが増しています。金融コミュニティでは、金融機関の受託者責任、金融リスクの軽減と長期的な価値創出に関する義務を踏まえ、持続可能性リスクへの対応としてRIの採用が広がっています。その一方で、システム・レベルのRI目標の達成を有意義に推し進めるためには、著しい変化が必要であることが明らかになってきました。

さらに、RI環境はますます変化が激しく複雑化しています。責任投資家はその数が増加しており、成熟度、ニーズ、アプローチ、目標も多岐に渡ります。一部の法域では、RIは政府の政策や規制、インセンティブによって奨励されている一方で、中には依然として障壁が存在する地域もあり、世界最大の資本市場ではRIの役割に抵抗する流れもあります。EMDEは、市場が成長して国際資本とのつながりが強まるにつれてその重要性を増しており、持続可能性の優先事項やシステム・レベルでのリスク（気候変動など）に対処するうえで極めて重要な存在となっています。

異なる市場、ビジネス・モデルおよび署名機関の種別においてRIの成熟度がますます多様化しており、署名機関ごとの進捗に合わせてきめ細やかに調整されたパスウェイが必要とされるだけでなく、複数のRIフレームワークを持つ法域では、重複を避けるため

に報告のさらなる柔軟性が求められています。また、署名機関には、学びやベスト・プラクティス、ネットワーク作りの価値を生かすためにさらなるガイダンス、リソース、コーディネーションも必要です。これらは、受託者および幅広い規制の範囲内での協働から実現されます。

今後導入される戦略の重点分野案

1. PRIのレポートニング(必須)を合理化しつつ、署名機関によるRIの進捗を推進する。
2. 地域のエコシステムを強化し、EMDEでのリーチを拡大する。
3. 協働イニシアチブをサポートし、主導することで、署名機関の影響力を拡大する。
4. 政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIを実現できる環境を強化する。

今後導入される戦略の重点分野案

1. PRIのレポートिंग(必須)を合理化しつつ、署名機関によるRIの進捗を推進する

PRIの取り組みとミッションの中核を成すのは、署名機関が6つの原則の実施を有意義に進めることができるよう後押しすることです。しかし、世界中のRIエコシステムが成長するにつれ、責任投資家は、RIの目的と成熟度の点でますます多様化しています。

署名機関との共同設計プロセスに続き、PRIは戦略的計画期間を設けて署名機関がRIの進捗を示すための新たな方法を導入しつつ、PRIのレポート・プロセスも合理化します。プログレッション・パスウェイでは、署名機関は、関連性が高く有意義な方法で個別にRI慣行を推し進めることができる一方で、レポートिंगの合理化によって必要な労力が軽減されるため、進捗させる事にリソースを配備し直すことができます。

署名機関と地域における目標とビジネス・モデルの多様性を見極めるため、RIの目的に応じてパスウェイを設定することが提案されています。また、こうすることで、組織のRI慣行の根底にある意図をすべての関係者に向けて明確にすることもできます。新しく先進的ないずれの署名機関も、PRIによるきめ細やかなサポート、ガイダンスおよびリソースを利用して、対応力を構築し、投資およびスチュワードシップ慣行を進展させることができます。ここには、気候変動、自然および人権などの課題別のテーマや、対象

となるアセットクラスに関係するものが含まれます。例えば、ポジティブなサステナビリティ・アウトカム達成を目的とした、成熟したRI慣行を持つ大規模な署名機関の場合、その具体的な目的に関連する高度なリソースやガイダンスから恩恵を受けられるものと考えられます。その目的は評価や格付けを提供することではなく、署名機関の進展をサポートすることにあるため、署名機関は自組織のパスウェイや、進捗のスピードと範囲を(場合によっては複数のパスウェイを通じて)個別に選択します。PRIはいずれ、任意のプログレッション・レポート・フレームワークを導入しますが、対象となる署名機関はそこで同業他社と比較した上でのフィードバックやベンチマークを得ることができます。

サービス・プロバイダーの署名機関の場合、プログレッション・パスウェイでは、アセット・オーナーおよびインベストメント・マネージャーによるRIの目的と活動、そして将来的なサービス開発の機会についての情報が明確に提供されます。私たちはサービス・プロバイダーのコミュニティと連携して、署名機関の進捗をサポートします。例えば、PRIは、異なるプログレッション・パスウェイでのRI慣行の統合に関して、投資コンサルタントにガイダンスやデューデリジェンスについての質問を提供する場合があります。PRIへの加盟は、サービス・プロバイダーのRIへのコミットメントを示すものであり、私たちはグローバル・ネットワークを通じて、協働し、知識を共有して、世界規模の重大な課題に対処する能力を強化する

ための比類なき機会を提供しています。

また、PRIでは、合理化されたレポーティング・プロセスを導入する予定であり、その第一歩として2024年のレポーティングに柔軟なアプローチを取り入れます。署名機関によっては、PRIやその他の報告義務を満たすために事務作業の負担が増すこともありますが、比較的成熟度の低いRIエコシステムを持つ署名機関からは、PRIのレポーティング（必須）によって組織の目的に沿ったコア・サービスを得られているという声もあがっています。こうした異なるニーズに対応するため、2023年にレポーティングを行った署名機関やレポーティング猶予期間中の署名機関についてはレポーティングは任意ですが、2023年に透明性レポートを開示しなかった、またはまだレポーティングを行っていない投資家の署名機関の場合は、レポーティングが必要です。中期的に、レポーティングが合理化されても6つの原則に関連する説明責任は保持される一方で、必要な労力が軽減され、署名機関はプログレッションを用いて学習の成果を発揮し、ひいてはベンチマーキングに活かすことができます。さらに、プログレッションとレポーティングの両方に役立つ政策関連情報、データおよびツールも、署名機関同士の、そして署名機関から関連規制当局に対する説明責任を後押しします。

2. 地域のエコシステムを強化し、EMDEでのリーチを拡大する

PRIは引き続き、そのグローバルな立場、専門知識およびネットワークを活かし、地域のRIエコシステムを強化していきます。ここには、各国、地域および同業の主体をつなぎ、充実した協働の機会と知識の共有を通じて、RIの進展を加速させることが含まれます。

また、署名機関との連携のもと、世界および地域の政策と市場改革の優先事項を合致させ、異なる地域の状況に応じてRIを実現できる環境を創出します。そして、実践コミュニティなどの現地イニシアチブやPRI in Personを含む世界規模のイベントを通じて、署名機関と関係者を集め、エンゲージメントを促し、連携させることで、各国のRIエコシステムを活性化してサポートします。

地域のRIエコシステムに対するPRIの取り組み

地域のRIエコシステムに対する最近のPRIの取り組み例：英国で開催された「PRI Sustainable Finance Policy Conference」では、政策立案者、署名機関、業界団体が一堂に会し、グリーン・ファイナンスへの移行に関するガイダンスを政府に提供しました。スイスでは、アセットマネジメント協会（Asset Management Association）と共同で、スチュワードシップに関する座談会が始まりました。カナダでは、現地の非営利サービス・プロバイダーである署名機関と連携して、先住民族の権利と和解についての実践コミュニティが立ち上げられました。

私たちは引き続き、国際資本とのつながりを強めるEMDEに注力し、持続可能な金融システムへの世界的な移行に取り残されることのないようEMDEをサポートします。EMDEも先進市場も、持続可能な資本を確保するうえで同じような課題に直面している一方で、EMDEの多くは、環境に有害な産業への依存というさらなる課題にも直面していることから、移行がますます複雑になって

EMDEにおけるPRIの取り組み

EMDEにおける最近の取り組み例：メキシコ証券取引所、アセット・オーナーの署名機関およびGlasgow Financial Alliance for Net Zero (GFANZ) 率いる現地のネットワークと共同で、PRI関係者イベントが開催され、Climate Action 100+イニシアチブへのメキシコの参画に関するケース・スタディについて協議されました。ブラジルでは、現地のアセット・オーナーと国連グローバル・コンパクトが招集され、同地域における共同の人権保護活動について検討されました。南アフリカでは、GFANZ参加のもと、Net Zero Asset Owner Allianceにてアセット・オーナーの座談会が開催されました。Capital Markets MalaysiaおよびInstitutional Investment Council Malaysiaと共同でPRI Academyが新たに立ち上げたブレンデッド・ラーニングが、最近試験的に導入されました。

PRIは、中国を中心とした地域投資家向けイニシアチブであるChina Climate Engagement Initiativeの公式サポーターとなりました。これは、中国の「ダブル・カーボン」目標に向けて、企業による質の高いグリーンな低炭素転換を後押しする取り組みです。

います。私たちはこのような地域、特に東南アジアや中南米、サハラ以南のアフリカ、中東、さらにはインドでの存在感を強めることで、世界の投資家が直面する課題についての全体的な理解を深め、持続可能な国際金融システムの実現に向けた協働的かつ生産的な活動の道筋を提供していきます。

今後も継続的に成熟地域で存在感を確立し、EMDEでのリーチを拡大していくことで、協働スペースにおいて、地域の関係者から成る大規模かつ多様なグループと議論を交わし、そこから学ぶための機会をすべての関係者に提供して、一対一の関係をいくつも構築する必要性をなくしていきます。PRIが重要な活動やイニシアチブを展開して、署名機関全体でそれを共有できるようにすれば、取り組みの重複も減らせるはずです。アセット・オーナーは、幅広いネットワークでの充実した連携と協働の恩恵を受けて、ベスト・プラクティスの採用を進め、学習機会を提供することができます。また、地域に影響をもたらす協働作業についても万全のサポートを受けられます。インベストメント・マネージャーとサービス・プロバイダーの場合は、クライアントの持続可能性慣行に対する理解を深める機会を多く得られるだけでなく、継続的に開催されるフォーラムを通じてベスト・プラクティスやピア・ラーニングを共有することができます。

3. 協働イニシアチブをサポートし、主導することで、署名機関の影響力を拡大する

投資家の義務とマンドートに応じた協働イニシアチブに参加することで、署名機関が集団的な発言と影響力を行使し、システミックな課題に対処し、コミットメントと進展を示し、他の責任投資家から学び、投資先企業、政策立案者およびその他関係者と協働するための機会が創出されます。国際金融市場に変化をもたらす、RIを主流化するためには、協働に基づく万全の取り組みが必要です。署名機関からの継続的な要望に応じて、PRIでは引き続き、PRI主導・支援のスチュワードシップ、目標設定およびピア・ラーニングのイニシアチブを通じた協働の機会を提供し、重大なシステム全

体のリスクに対処できるようにします。今後も変わらず気候変動、人権および自然を優先度の高いESG課題に掲げ、こうした分野での主要なイニシアチブとPRIのリサーチ、分析、ソートリーダーシップおよび政策立案との間で情報を共有していきます。

引き続き、投資家、金融機関、国連および投資家ネットワークと緊密に連携し、Net Zero Asset Owner Allianceなどのネットゼロ・イニシアチブや、Climate Action 100+などの世界規模のスチュワードシップ・イニシアチブの招集と支援をしていきます。PRIが明確かつ特別な役割を果たすべき場面では、新たな協働の機会に対する署名機関の関心と要望に応じていきます。例えば、「Spring」は自然に対するPRIの新たなスチュワードシップ・イニシアチブであり（PRI署名機関で、アセット・オーナー、インベストメント・マネージャー、機関投資家の代理人としてマンデートを持つサービス・プロバイダーが対象）、システム全体での自然喪失リスクに対処し、長期的なポートフォリオの価値創出を強化できるような企業慣行の向上を目指しています。また、イニシアチブではより大規模で先進的な署名機関に対して、システム・リスクに対処するための新たな協働の機会を提供します。

さらに、プラットフォームや情報への署名機関のアクセスを改善することで、投資家同士の協働の透明性とコーディネーションを改善し、重複を減らします。例えば、PRI Collaboration Platformでは、署名機関が協働し、リソースをプールし、情報を共有して、スチュワードシップ活動の向上を図ることができます。PRIは今後も他の責任投資および持続可能なイニシアチブへの参画を継続して、システム・レベルの変化を加速させます。

4. 政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIを実現できる環境を強化する

すべての投資家は、RIの政策および規制環境の恩恵を受けています。世界中のRIエコシステムは過去10年間で急速に成熟してきた一方で、主要なRI慣行を調和させ、その恩恵を得るためには、政策および金融市場の改革がいまだ必要とされています。これは特に、政治、規制および金融市場の関係者の間で、気候変動や自然、人権を含む持続可能性目標へのためらいや反発が存在する場合において顕著です。署名機関は、政策および規制環境をRIへの取り組みにおける優先分野と位置付けています。

サービス・プロバイダーの協働イニシアチブへの参加を推進する

PRIは引き続き、サービス・プロバイダーの署名機関に協働の機会を提供していきます。SpringをはじめとするPRIの協働スチュワードシップ・イニシアチブは、機関投資家の代理人としてマンデートを持つサービス・プロバイダーを対象としています。また、サービス・プロバイダーの気候変動対策も継続的にサポートしていきます。具体的には、PRIが常任理事を務める持続可能な証券取引所イニシアチブ（SSEI）とのパートナーシップや、Net Zero Financial Service Providers Allianceの共同開催などがその例です。今後も引き続き、SSEIの参加取引所間での持続可能性原則および慣行の策定に関する効果的な戦略を支持し、世界中の政策立案者や証券取引所へのアウトリーチを通じて、気候関連情報開示への取り組みに貢献していきます。

PRIは、そのグローバルな経験と技術的アドバイスによって、改革を推し進めることのできる立場にあります。そこで、まだ経験の浅

い責任投資家に対しても、経験豊富な責任投資家に対しても、RI目標の達成に不可欠なシステム・レベルでの変化をサポートし、主導します。そのために、私たちは会合の機会を設け、ファシリテーターとしての役割を果たし、様々な意見を取りまとめ、政策および金融市場のアウトカムを提案して署名機関をサポートするための能力を高めていきます。署名機関とのこれまでの経験を、政策立案者、規制当局およびその他システム関係者との取り組みに活かして、透明性のある市場を確立し、政策、規制のフレームワークおよび市場構造をサステナビリティ・アウトカムに合致させます。特に、大規模かつ経験豊富で関与度の高い署名機関と緊密に連携し、主要なRI政策および規制の策定に関して投資家の声を代弁することで、意欲的な持続可能性のマネジメントを推し進めます。また、政府および多国間での政策立案（金融規制や経済政策を含む）、気候変動に関する国際連合枠組条約やOECD、国際サステナビリティ基準審議会といったフォーラムやイニシアチブにも影響を与えるよう、署名機関のエンゲージメントをサポートします。この取り組みでは、PRI主導のディスカッション・ペーパーやステートメントから、同じ目的を持つ署名機関が独自の見解をまとめたステートメントまで、署名機関に様々なエンゲージメントの手段を提供します。

2024年1月、PRIはTaskforce on Net Zero Policyの事務局に選出されました。COP28で本タスクフォースが立ち上げられたことで、国連事務総長主催の「非国家主体のネットゼロ・コミットメントに関するハイレベル専門家グループ」による取り組みが大きく前進しました。本タスクフォースは、政策立案者と規制当局のための協働スペースを確立し、ネットゼロへの移行をリサーチと技術か

らサポートすることを主な目的としています。

PRIによる戦略の実現と署名機関への価値の提供について

戦略を通じて署名機関に最大限の価値を提供できるよう、私たちは署名機関の体験（シグナトリー・エクスペリエンス）の向上に投資しています。ここには、ウェブサイトのデザイン刷新を通じたPRIのオンライン・コンテンツとリソースへのアクセスの向上、グローバル・サポートチームの新設、個々の署名機関に合わせたより良いデータ利用などが含まれます。私たちは、各国の連絡窓口を通して署名機関が知識の豊富なサポート機能にアクセスできるようにすることで、地域のエコシステムでの存在感を高めます。協働の強化に必要なリソース、サポート、機会を通じて、アセット・オーナー、インベストメント・マネージャー、サービス・プロバイダーをつなぎ、署名機関がエンゲージメントの機会と期待事項を理解できるよう支援します。

プログレッション・パスウェイを提供し、既存のおよび新たなRIエコシステムを育成し、協働イニシアチブをサポートして、RIの政策および規制環境を強化するためには、取り組みのさらなる拡充、新しい分野への投資、署名機関のさらなるサポートが必要です。多くの組織と同様に、私たちは過去数年間に大きなインフレ圧力にさらされてきましたが、業務効率と財政の安定化に集中的に取り組むことで、年会費の値上げを最小限に抑えています。また、署名機関の統合が増加傾向にあることから、PRIの収益が落ち込んでいます。署名機関に対する支援活動の資金の大部分は署名機関からの会費が占めていることから、PRIでは会費をできる限り低く抑えるよう努めていますが、戦略を実現し、署名機関のニーズ

に応えられるだけの十分な資金を確保しておく必要があります。

さらに、現行のPRI年会費体系では、署名機関の基盤の多様性を正しく反映することができません。PRIは会員数が増加し、その多様化も進んでいることから、署名機関の運用資産残高（AUM）も1億ポンド未満から1兆ポンド以上まで極めて多岐に渡ります。そのため、ボードでは、累進性の高い年会費体系を導入したほうが公平・公正な制度になるのではないかと考えています。こうした年会費体系により、署名機関はその資金規模に比例する形で資金を拠出することができるようになります。最終的には、公平性が増し、署名機関の様々な対応力を反映して、より公平かつ効果的で、持続可能な投資家のつながりが生まれます。

そこで、PRIでは、アセット・オーナーとインベストメント・マネージャー向けに2つの上位年会費区分（下の表を参照）を設定し、その導入を提案しています。

アセット・オーナー



年会費区分 – AUM別 (10億ドル単位)

2024/2025年度

区分 1	100以上	£20,000
区分 1	50～99.99	£15,000

インベストメント・マネージャー



区分 1	500以上	£25,000
区分 1	100～499.99	£20,000

また、上記の目安金額を下回る署名機関には、年会費のわずかな値上げにご理解をお願いしております。これは、年会費体系と区分を含め、長期にわたる収益モデル見直しの第一段階です。署名機関にご協力いただく部分も含むさらなる詳細については、今年の署名機関総会 (Signatory General Meeting) にてご案内いたします。

追加リソースを確保することで、署名機関にとって最も重要な優先事項（コンサルテーションで何う内容です）の達成に向けて取り

組むことができます。PRIでは、よりきめ細やかな取り組みのプログラムを提供し、世界規模と地域の両方でRIの政策を積極的に支持して、ひいてはRI慣行の採用を加速させます。年会費区分の種類を増やすことで、PRIの財政を短期的に安定させる一方で、長期的には、収益源を多様化して、署名機関からの年会費への依存度を軽減し、財政の持続可能性とレジリエンスを高めることを目指しています。

次のステップ

PRIは、最も大きな影響力を持つ世界最大の責任投資組織としての理想的な立場から、責任投資に報い、プラネタリー・バウンダリーの範囲内で事業を運営し、人権への理解を促進して、平等な社会を達成する国際金融システムを実現するため、取り組みを進めています。しかし、私たちだけではミッションを達成することはできません。私たちは署名機関やその他のネットワーク、金融システムの関係者、政策立案者、多国間組織、その他のステークホルダーと連携して、好ましい影響力を発揮していく必要があります。本書で説明する戦略によって、署名機関を中心としたミッション主導の「ビッグ・テント・モデル」を強化していきます。これにはさらなる労力とリソースが必要ですが、この取り組みを通して世界中のRIエコシステムを拡充しつつ、より多様な署名機関が持つニーズと目的に対応していきます。全体的な目標の進展に向けて、署名機関には、引き続きRI慣行を実践していただき、他社と協働する機会を模索して、世界中でRIを進展させるために変化する規制環境で何が求められているのかを見極めていただきたいと思います。

署名機関からのご意見は、署名機関によるRIの進展を個別に、そして協働でどうサポートすべきであるかを理解するうえで極めて重要です。本書で提案したPRIの今後の方向性については、2024年3月後半に配布するアンケートでぜひともご意見をお聞かせください。共通の目標に向けて、署名機関の皆様とますます連携を深められることを心待ちにしております。

2024年PRI戦略コンサルテーション

変化する世界への対応

本コンサルテーション・アンケートでは、以下の4つの分野について、署名機関の皆様にご意見をお伺いします。

01.

戦略の刷新と年会費
体系の変更

02.

署名機関による進捗
(プログレッション)

03.

レポーティング(必
須)の未来

04.

署名機関にとって
の価値

本コンサルテーションに回答しやすくするため、アンケートの質問に加えて、議論されている課題に関する背景説明を記載しています。

01.

戦略の刷新と年会費体系の変更

PRIの新しい戦略では、署名機関に最大限の価値を提供し、持続可能な国際金融システムの達成に向けた進展を加速させるため、4つの分野に重点的に取り組みます。その選定にあたっては、過去18か月間にわたって署名機関を対象に広く実施されたコンサルテーション、広範にわたる戦略的背景、そしてPRIの経験と分析を参考としました。

4つの分野は以下の通りです。

- PRIのレポート（必須）を合理化しつつ、署名機関によるRIの進捗を推進する
- 地域のRIエコシステムを強化し、新興市場と発展途上国経済でのリーチを拡大する
- 協働イニシアチブをサポートし、リードすることで、署名機関の影響力を拡大する
- 政府および多国間の政策、そして金融市場慣行に影響を及ぼすことで、RIが実現できる環境を強化する

本プログラム案には、取り組みのさらなる拡充、新しい能力への投資、署名機関の基盤からのさらなるサポートが必要です。多くの組

織と同様に、私たちは過去数年間に大きなインフレ圧力に直面してきましたが、業務効率と財政の安定化に集中的に取り組むことで、会費への影響を最小限に抑えています。また、署名機関の基盤内で統合が進んでいることから、PRIの収益が落ち込んでいます。署名機関に対する活動支援資金の大部分は署名機関からの会費が占めているため、PRIでは会費をできる限り低く抑えるよう尽力していますが、戦略を実現し、署名機関のニーズに応えられるだけの十分な資金を確保しておく必要があります。

さらに、現行のPRI年会費体系では、署名機関の基盤の多様性を正しく反映することができません。PRIは会員数が増加し、その多様化も進んでいることから、署名機関のAUMも1億ドル未満から1兆ドル以上まで極めて多岐に渡ります。そのため、ボードでは、累進性の高い年会費体系を導入したほうが公平・公正な制度になるのではないかと考えています。累進性の高い年会費体系を導入することで、署名機関はその資金規模に比例する形で資金を拠出することができるようになります。最終的には、より累進性の高い年会費体系によって公平性が増し、署名機関の様々な対応力を反映して、より公平かつ効果的で、持続可能な投資家のつながりが生まれます。

01.

そこで、PRIでは、アセット・オーナーとインベストメント・マネージャー向けに2つの上位年年会費区分(下の表を参照)を設定し、その導入を提案しています。

アセット・オーナー	年会費区分 - AUM別 (10億ドル単位)		2024/2025年度
	区分 1	100以上	£20,000
	区分 1	50～99.99	£15,000
インベストメント・マネージャー	区分 1	500以上	£25,000
	区分 1	100～499.99	£20,000

また、上記の目安金額を下回る署名機関には、年会費のわずかな値上げにご理解をお願いしております。これは、年会費体系と区分を含め、長期にわたる収益モデル見直しの第一段階です。署名機関にご協力いただく部分も含むさらなる詳細については、今年の署名機関総会 (Signatory General Meeting) にてご案内いたします。

追加リソースを確保することで、署名機関にとって最も重要な優先事項(コンサルティングで伺う内容です)の達成に向けて取り

組むことができます。PRIでは、よりきめ細やかな取り組みのプログラムを提供し、世界規模と地域の両方でRIの政策を積極的に支持して、ひいてはRI慣行の採用を加速させます。年会費区分の種類を増やすことで、PRIの財政を短期的に安定させる一方で、長期的には、収益源を多様化して、署名機関からの年会費への依存度を軽減し、財政の持続可能性とレジリエンスを高めることを目指しています。

01.

質問

1.1 あなたの組織にとって、以下の重点分野におけるPRIの取り組みはどの程度有益ですか。

1を「まったく有益でない」、5を「非常に有益」とする5段階の尺度でお答えください。

- プログレッションを推進し、レポートニングを合理化する
- 地域のRIエコシステムをサポートし、新興市場と発展途上国経済でのリーチを拡大する
- 協働イニシアチブをサポートし、リードする
- 政策および金融市場慣行に影響を及ぼす

1.2 引き続き、PRIの取り組みがあなたの組織にとってどの程度有益であるかをお聞きます。前の質問への回答について、追加でコメントしたいことがあれば記入してください。

☐ 特になし

01.

質問

1.3 PRIは、以下の重点分野案においてどの程度影響力を発揮できる立場にあると思いますか。

1を「まったくそういう立場にはない」、5を「大いにそういう立場にある」とする5段階の尺度でお答えください。

- プログレッションを推進し、レポートニングを合理化する
- 地域のRIエコシステムをサポートし、新興市場と発展途上国経済でのリーチを拡大する
- 協働イニシアチブをサポートし、リードする
- 政策および金融市場慣行に影響を及ぼす

1.4 前の質問への回答をもとに、PRIが重点分野案においてどの程度影響力を発揮できる立場にあるかについて、追加でコメントしたいことがあれば記入してください。

☐ 特になし

01.

質問

1.5 PRIの戦略的方向性案と、それがあなたの組織にもたらす価値について、他に追加でコメントしたいことがあれば記入してください。

☐ 特になし

1.6 年会費の区分の変更に該当する場合、変更案について何かご意見はありますか。

☐ 特になし

02.

署名機関による進捗(プログレッション)

世界中のRIエコシステムが成長するにつれ、責任投資家は、RIの目的と成熟度の点でますます多様化しています。コンサルティングにおいて、署名機関より、自組織に最も関係のあるRIの目的に対する進捗(プログレッション)を示すことができるようにしたいという明確な意思表示がみられました。

これに対応するため、署名機関との共同設計プロセスに続き、PRIは戦略的計画期間を通じて、署名機関がRIの進捗を示すための新たな方法を導入します。

プログレッション・パスウェイでは、署名機関は、関連性が高く有意義な方法で個別にRI慣行を推し進めることができます。署名機関と地域における目標とビジネス・モデルの多様性を見極めるため、RIの目的に応じてパスウェイを設定することが提案されています。また、こうすることで、組織のRI慣行の根底にある意図をすべての関係者に向けて明確にすることもできます。プログレッション・パスウェイは、従来型の評価や格付けを提供するものではなく、署名機関の進展に役立つツールや情報、サポートを提供します。それぞれの署名機関は、自組織のパスウェイ、その進捗のスピードと範囲を自由に選択します。

将来的に、プログレッション・パスウェイは、署名機関がRI活動をいかにして推し進め、どのような方法でレポートするかに影響

を及ぼします。プログレッション・パスウェイの共同設計は署名機関との間でいまだ進行中です。以降の質問に回答されるにあたり、以下の用語と概念を念頭に置いてください。

第一に、PRIの署名機関ステータスに対する説明責任を果たすため、すべての署名機関を対象とした最低要件は維持されます。

第二に、PRIでは、すべての署名機関に基礎的なレポートिंग(Foundational Reporting)の実施を必須とする見通しです。これは、現行のレポートिंग(必須)要件を新たに合理化・簡略化したものです。基礎的なレポートングでは、署名機関による6つの原則の実施状況についての重要情報を収集することで、署名機関の活動に関する有意義で簡略化されたベンチマーキングを可能にします。

第三に、基礎的なレポートングを補完するため、任意のプログレッション・レポートングが求められることがあります。プログレッション・レポートングによって、署名機関は自組織の進展に関するフィードバックを集められるようになり、さらにRIの進展を報告する他の署名機関と比較したベンチマーキングを実施することが可能になります。

最後に、規制当局やその他の投資家イニシアチブによる同等の報告義務の認定により、署名機関にとっての全体的な報告の負担がさら

02.

に軽減されます。基礎的なレポーティングおよびプログレッション・レポーティングでの同等性の適用についてはまだ検討中ですが、署名機関にとって重要な検討事項となる可能性が高いものと考えられます。プログレッション・パスウェイの共同設計プロセスとレポーティングは、2024年を通して継続されます。以下の質問への回答は今後、こうしたアプローチの設計に役立てられます。

02.

質問

2.1 プログレッション・パスウェイは、責任投資の目的に向けた署名機関の進展をサポートするための幅広い機会を提供するものです。あなたの組織がPRIに提供を期待するものは次のうちどれですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 責任投資の目的によりきめ細やかに合わせたガイダンス
- PRIの外部における組織や投資家との協働活動が提供するリサーチ、ガイダンス、ツールへの推奨やアクセス
- プログレッションを測定して同業他社の署名機関と比較するための推奨KPI
- RIに関して同じ目的を持つ同業他社と比較した上で進展とベンチマークを報告するプラットフォーム
- PRIが導入する説明責任要件（投資家はそのプロGRESSIONと目標に関連する主張を行う場合、どのように進捗しているかを実証する必要がある）
- プログレッションに関連する主張の検証（PRIは署名機関に情報開示を監査するように求める）
- 規制当局と連携して、投資家の目的ごとに進捗の国際基準を設定する

その他（具体的に記入してください）

02.

質問

2.2 プログレッション・パスウェイは自発的なイニシアチブとして、共通の目的（パスウェイの選択）と成熟度（パスウェイ内のステップ）を持つ署名機関のコホートを作成するための取り組みです。こうしたコホートを署名機関にとって関連性が高く、有益なものとするためには、どのようなアプローチが必要ですか。

1つだけ選択してください。

- アクセスのしやすさに配慮して、どのコホートでも自由に選択できるようにする
- コホート内での成熟度をなるべく統一させるため、レポーティングをもとに特定の基準の充足度に応じてコホートを作成する

その他（具体的に記入してください）

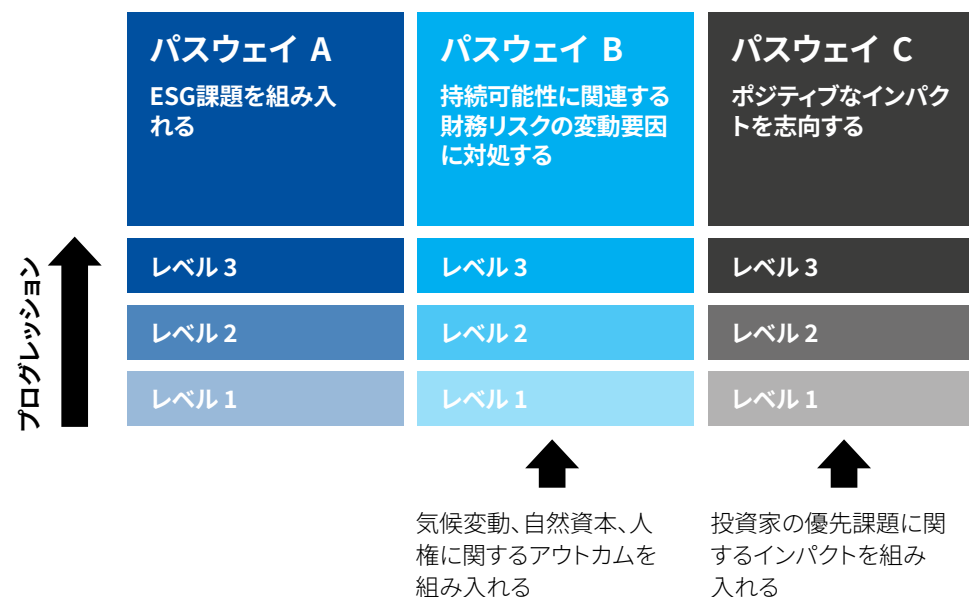
02.

質問

2.3 プログレッション・パスウェイの初期の共同設計段階では、参加署名機関は、投資家の目的に根差したコンセプトが好ましいとの声をいただきました。これについては、2023年10月の「[プログレッション・パスウェイ](#)」ペーパーに概要が記載されており、参考のため以下にも図を示します。

責任投資家としてのあなたの組織の進捗を後押しするうえで、このモデルを構築または調整する最善の方法は何だと思いますか。具体的にお答えください。

異なる責任投資目的や意図を識別する



○ 特になし

03.

レポートिंग(必須)の未来

署名機関によっては、PRIやその他の報告義務を満たすために事務作業の負担が増すこともありますが、比較的成熟度の低いRIエコシステムを持つ署名機関からは、PRIのレポートिंग(必須)によって組織の目的に沿ったコア・サービスを得られているとのフィードバックも寄せられています。将来的に、レポートिंगが合理化されても6つの原則に関連する説明責任は保持される一方で、必要な労力が軽減され、署名機関はプログレッションを用いて学習成果を発揮し、ひいてはベンチマーキングに活かすことができます。

03.

質問

3.1 原則の実施に関する説明責任を果たすため、すべての署名機関がPRIに報告すべき活動は何だと思いますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- PRIの投資家会員を対象とする現行の最低要件
- 署名機関の上級役員が承認する、責任投資への全体的なアプローチとコミットメント
- 署名機関の上級役員が承認する、責任投資における進展と、原則の実施を進展させるための具体的な次のステップ
- システマティックなサステナビリティ課題に関連する政策およびガバナンスのアプローチ
- 投資プロセスへのESG組み入れ
- アクティブ・オーナーシップおよびスチュワードシップ活動
- 外部のインベストメント・マネージャーの選定、指名、モニタリングに特化した責任投資アプローチ
- 投資対象となる特定のアセットクラス（上場株式、債券、オルタナティブ投資など）への責任投資アプローチ
- 第三者（例えば規制機関への報告や広く公開など）への外部報告

その他（具体的に記入してください）

03.

質問

3.2 あなたが好ましいと感じるPRI報告の頻度を教えてください。

1つ選択してください。

- 年に1回
- 2年に1回
- 3年に1回

その他(具体的に記入してください)

04.

署名機関にとっての価値

PRIでは新しい戦略を策定し導入するにあたり、署名機関に必要な価値をお届けしたいと考えています。そこで署名機関の最新のニーズを把握するため、私たちは署名機関がPRIのどの取り組みに価値を見いだしているのかを定期的に調査いたします。こうすることで、PRIが影響を及ぼしている分野や戦略に調整の必要な分野を理解することができます。

04.

質問

4.1 あなたの組織が責任投資を実施するうえで直面している最大の課題は何ですか。

1つ選択してください。

- RI慣行の進展に必要な知識とツールにアクセスすること
- 国内/地域のエコシステムに存在する同業他社とつながること
- 協働イニシアチブに参加すること
- 政策および規制環境でRIの実施を阻む障壁
- リソース不足

その他(具体的に記入してください)

04.

質問

4.2 前の質問への回答についてお聞きします。最大の課題に対処するうえで、あなたはどこに支援を求めますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- PRI
- その他のRI組織（具体的にご記入ください）

- 投資家団体
- その他（具体的に記入してください）

4.3 引き続き、最大の課題についてお考えください。私たちがその課題に対処し、署名機関により多くの価値を提供するために、PRIにできることが1つだけあるとすればそれは何ですか。

☐ 特になし

04.

質問

4.4 あなたにとって以下はどの程度容易ですか。

1は「非常に困難」、5は「非常に容易」とする5段階でお答えください。

- レポートिंगおよび評価の課題に関してPRIとやり取りをすること
- 新たに生じた課題やトピックに関してPRIとやり取りをすること
- コンテンツに関してPRIとやり取りをすること
- あなたにとって重要な課題に関して、PRIを通じて他の投資家と協働すること
- サービスについての問い合わせに関してPRIとやり取りをすること
- PRIのウェブサイトで情報を見つけること

04.

質問

4.5 前の質問のいずれかの選択肢で1、2または3を選択された方にお聞きします。具体的にどのような点が困難だと感じるかをお答えください。

☐ 特になし

4.6 PRI署名機関としてのご経験に関して、他にコメントがあればご記入ください。

☐ 特になし

私たちの新しい戦略計画策定へ のご協力ありがとうございます。

皆様のご意見を伺い、共通の目標に向けて一緒に進むことを楽しみにしております。



責任投資原則(PRI) イニシアチブ

PRIは、6つの責任投資原則を実行に移すため、自らの国際的な署名機関ネットワークと連携しています。PRIの目的は、環境、社会、ガバナンス(ESG)課題が投資に与える影響を理解し、署名機関がこれらの課題を投資やオーナーシップの意思決定に統合する支援をすることです。PRIは、署名機関およびこれらの署名機関が活動する金融市場・経済、そして、最終的には、環境および社会全体の長期的な利益につながる行動をとっています。

6つの責任投資原則は、自主的かつ意欲的な一連の投資原則であり、ESG課題を投資慣行に組み込むための潜在的な行動のメニューを提供しています。本原則は、投資家のために投資家により策定されました。本原則を実施していく中で、署名機関は、より持続可能なグローバル金融システムの開発に貢献しています。

詳細についての参照先:www.unpri.org

PRIは、
国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)
と国連グローバル・コンパクトと連携した投資家イニシアティブです。

国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)

UNEP FIは、国連環境計画(UNEP)とグローバル金融部門のユニークなパートナーシップです。UNEP FIは、持続可能性と金融パフォーマンスを連結し、発展させるため、持続可能な開発に関するUNEP FIの声明に署名している200以上の金融機関やさまざまなパートナー組織と協力しています。同業者ネットワーク、調査および研修を通して、UNEP FIは、金融機関業務のあらゆるレベルにおいて、環境・持続可能性のための最善の慣行の適用を特定、促進、実現するという使命を果たしています。

詳細についての参照先:www.unepfi.org

国連グローバル・コンパクト

国際連合グローバル・コンパクトは、世界各国の企業に対して、それぞれの業務および戦略を、人権、労働、環境および腐敗防止の分野で一般に受け入れられている10の原則に従うよう、また、国連の目標および持続可能な発展の目標を支持する行動を取るよう、呼びかけています。国連グローバル・コンパクトは、責任ある企業活動の開発、実施および開示のためのリーダーシップ・プラットフォームです。2000年に始まったこの取り組みは、企業の持続可能性イニシアティブでは世界最大であり、160か国、8,800を超える企業、4,000以上の企業以外の団体、80以上のローカル・ネットワークが参加しています。

詳細についての参照先:www.unglobalcompact.org

